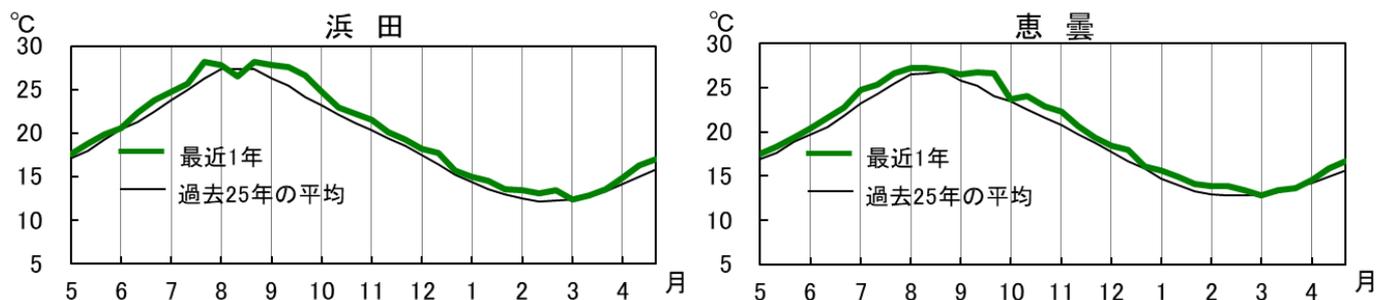




## 《4月の海況》



4月	浜田			恵曇		
	評価	平均	平年差	評価	平均	平年差
上旬	やや高め	16.3	+1.3	平年並み	15.7°C	+0.8
中旬	かなり高め			かなり高め		
下旬	かなり高め			やや高め		



## 《4月の漁況》

## 【中型まき網漁業】

浜田地区ではサバ類、マアジ主体の漁況でした。魚種別の漁獲量の動向は、サバ類は平年の2.6倍、マアジは平年の約5割でした。隠岐地区ではマイワシ主体の漁況で、1統1航海当りの漁獲量は88.6トンで平年並みでした。魚種別の漁獲量の動向は、マイワシは13,231トンで平年の3.1倍、次に多いサバ類は228トンで平年の約1割でした。

## 【イカ釣漁業】

浜田地区(属地5トン以上)ではスルメイカが主体となり、1隻1航海当りの漁獲量は165.8kgで平年の約6割の水揚げでした。西郷地区(属人5トン以上)では、スルメイカが主体となり、1隻1航海当りの漁獲量は16.5kgで平年の約2割の水揚げでした。

## 【沖合底びき網漁業】

浜田地区ではキダイ、ケンサキイカ、アナゴ・ハモ類主体の漁況で、総漁獲量は230トンでした。1統1航海当りの漁獲量は12.8トンで平年並みでした。魚種別の漁獲量の動向は、キダイは平年の1.0倍、ケンサキイカは平年の1.1倍、アナゴ・ハモ類は平年の1.5倍でした。その他、マダイは平年の4.2倍、エソ類は平年の1.5倍、マアジは平年の1.2倍、スルメイカおよびアンコウ類は平年の7割、アカムツは平年の5割、ムシガレイは平年の4割の水揚げでした。

## 【小型底びき網漁業】

大田地区(和江・久手)ではソウハチ、ヒレグロ、ニギス主体の漁況で、総漁獲量は280トンでした。1統1航海当りの漁獲量は732kgで平年並みでした。魚種別の漁獲量の動向は、ソウハチは平年の8割、ヒレグロは平年の2.1倍、ニギスは平年の2.0倍でした。その他、マダラは平年の7.2倍、アンコウ類およびキダイは平年の1.4倍、アナゴ・ハモ類、ムシガレイおよびアカガレイは平年の1.1倍、アカムツは平年の8割の水揚げでした。

## 【定置網漁業】

出雲地区ではマイワシ、ブリ、マアジ主体の漁況で、1経営体当りの漁獲量は33.8トンで平年並みでした。魚種別の漁獲量の動向は、マイワシは平年の9割、ブリは平年の1.2倍、マアジは平年の1.6倍でした。石見地区ではブリ、マアジ主体の漁況で、1経営体当りの漁獲量は22.3トンで平年を上回りました。魚種別の漁獲量の動向は、ブリが平年の3.4倍、マアジが平年の2.7倍でした。隠岐地区ではブリ、マイワシ主体の漁況で、1経営体当りの漁獲量は59.5トンで平年を上回りました。魚種別の漁獲量の動向は、ブリは平年の2.4倍、マイワシは平年の11.5倍でした。

## 【釣り・縄】

出雲地区ではブリ、アマダイ主体の漁況で、1隻1航海当りの漁獲量は28.1kgで平年を下回りました。魚種別の漁獲量の動向は、ブリは平年の1.0倍でした。石見地区ではアマダイ、ブリ、カサゴ・メバル類主体の漁況で、1隻1航海当りの漁獲量は21.0kgで平年並みでした。魚種別の漁獲量の動向は、アマダイは平年の2.0倍でした。隠岐地区では、カサゴ・メバル類、ブリ主体の漁況で、1隻1航海当りの漁獲量は25.2kgで平年並みでした。魚種別の漁獲量の動向は、カサゴ・メバル類は平年の1.8倍でした。

【令和6年4月の漁獲統計】

漁業種類	地区	主要魚種	総漁獲量			CPUE(1隻(統)1航海当り漁獲量)		
			漁獲量	前年比 %	平年比 %	漁獲量	前年比 %	平年比 %
中型まき網	浜田	サバ類、マアジ	—	—	—	—	—	—
	隠岐	マイワシ	3,231 トン	227%	311%	88.6 トン	85%	106%
イカ釣り (5トン以上)	浜田	スルメイカ	4.1 トン	123%	30%	165.8 kg	143%	65%
	西郷	スルメイカ	0.1 トン	1%	2%	16.5 kg	17%	22%
沖合 底びき網	浜田	キダイ、ケンサキイカ、アナゴ・ハモ類	230 トン	121%	86%	12.8 トン	141%	98%
小型 底びき網	大田	ソウハチ、ヒレグロ、ニギス	280 トン	166%	119%	732 kg	107%	100%
定置網 (大型)	出雲	マイワシ、ブリ、マアジ	440 トン	188%	121%	33.8 トン	188%	121%
	石見	ブリ、マアジ	89.2 トン	468%	270%	22.3 トン	351%	226%
	隠岐	ブリ、マイワシ	179 トン	153%	261%	59.5 トン	153%	261%
釣り・縄	出雲	ブリ、アマダイ	43.1 トン	169%	109%	28.1kg	95%	82%
	石見	アマダイ、ブリ、カサゴ・メバル類	26.1 トン	199%	110%	21.0kg	107%	90%
	隠岐	カサゴ・メバル類、ブリ	30.6 トン	285%	165%	25.2kg	135%	100%

※ 平年比：過去5年（沖底のみ10年）の平均値との比較

※ 大型定置網漁業のCPUEは1経営体当り漁獲量を示す。

※ 水温の評価「はなはだ〇〇」：約20年に1回の出現確率である±2℃程度の高さ

「かなり〇〇」：約10年に1回の出現確率である±1.5℃程度の高さ

「やや〇〇」：約4年に1回の出現確率である±1℃程度の高さ

「平年並み」：約2年に1回の出現確率である±0.5℃程度の高さ